

国際センターシンポジウム講演会 「日本の建設企業の海外進出を考える」第3回開催報告

国際センター教育グループでは、我が国の建設企業の海外展開へ向けた人材のグローバル化に対する支援活動の一環として、国際シンポジウム講演会を3回シリーズとして開催しました。今回は最終回として「事業の多様化に向けてー海外企業の事業展開の現状」と題した講演会を開催しました。世界規模で活躍されている海外企業の方をお招きし、それぞれの企業の活動また海外展開についての考え方をご講演頂きました。当日は建設産業に携わる産官学より計72名の参加がありました。



講演会の様子（大橋氏）

講演会の第1部では、「海外インフラ事業(含PPP)概要ケーススタディと海外建設会社の関与について」と題して、マッコーリーキャピタル証券会社の大橋 純氏にご講演頂きました。銀行業務、アドバイザー、投資とファンドマネジメントサービスを全世界で提供するマッコーリーグループにおけるインフラビジネス展開について、同社の事例を通じてご紹介いただきました。投資会社から見たPPPの考え方やM&Aを通じた海外進出など、普段なかなか聞く事の出来ない貴重なご講演をいただき、その後の質疑を含め活発な意見交換がなされました。



講演会の様子（岡氏）

また第2部では、「海外企業の海外展開 日本での足跡」と題して、レンドリース・ジャパン株式会社岡 正信氏にご講演頂きました。国際的企業における海外拠点として日本での経営に携わってこられた氏の経験をもとに、海外拠点としての日本での事業展開や、海外本社との視点の違いなどをご紹介いただきました。今後海外進出を目指す企業にとって、海外拠点と日本本社のあり方を考える上で大切な示唆が多く含まれており、海外進出を目指す企業に属する聴講者の皆様は熱心に聞き入っていました。

本講演会は3回シリーズとして企画され、海外で活躍する日本企業および世界で活躍する海外企業から講師を招き、その経験を踏まえたご講演を頂いてきました。国際センター教育グループではこのような取り組みが、日本の企業で海外に進出を考えている方々の一助になると考えています。

なお、次回シリーズとして、実際に国際展開を行っている海外の建設企業の方を講師として招き、建設企業としての国際展開のあり方をご講演頂くシンポジウムを今冬から来年初頭を目途に開催する予定としております。